

「戦争しない」
9条守ろう

「9条を守る会・西多摩」の駅前宣伝 —— 共産党羽村市議団も参加しました in 羽村駅

8月5日午後3時から、羽村駅前で「9条を守る会・西多摩」の宣伝行動がおこなわれました。共産党羽村市議団も参加し、「憲法9条を生かした政治をつくるため、ごいっしょに力あわせましょう」との訴えをおこないました。

全国の「9条の会」は6000超に 羽村では「9条を守る会・西多摩」が活動

作家の大江健三郎さん、井上ひさしさん、評論家の鶴見俊輔さんなどがよびかけ人となり、全国に広がっている「9条の会」。支持政党や宗教の違いをこえ、「憲法9条を守ろう」の一点だけでの共同のとりくみは、全国で6000団体を超えてさらに広がり続けています。

羽村市と瑞穂町では、「9条を守る会・西多摩」が活動をおこなっており、宣伝や会報発行などの活動がねばり強く続けられています。駅前宣伝は現在月1回のペースでとりくまれています。

今回の駅前宣伝は、夏の日差し照りつける8月5日、広島への原爆投下62年目の日を前にしてのとりくみとなりました。



訴える市川議員

宣伝中に、市民から様々な声が

この日の気温は34度。「出歩く人もまばらでは？」との思いで参加をしました。しかし、夏休み中の日曜日ということもあるのでしょうか。思った以上に駅前には人の行きかいはありました。

手書きの看板を何枚もならべてアピールをしながら、「9条まもりましょう」など声をかけつつチラシの配布をします。また、ハンドマイクを使って参加者が順番に、思い思いの話しをします。



声かけながらチラシを配布します

また、ハンドマイクを使って参加者が順番に、思い思いの話しをします。

自らの戦争体験、子どもへの思いと重ね合わせての反戦の願い、などなど…。

宣伝中に、市民から様々な声が寄せられます。

まずは、カメラを首から下げた初老の男性。これから知り合いの写真展に向かうところだそうです。「私の父は37歳で招集され、5人兄弟を母だけで育ててもらった。母は苦労したと思うよ。2度と戦争するのはだめだね」とはげましの言葉。

また、参議院選挙で自民・公明が敗北したことを話しているところへ、自転車でおりがかった男性。「安倍じゃあだめだよ。安倍じゃ。がんばれよ」と。



手書きの看板

さらに、若い男性が話しかけてきて「もし、他の国が攻めてきたらどうするんですか？」との質問。「軍隊で威嚇をするから、攻めてくるのでは。軍隊をもたないことこそ安全なのは。」などの対話に。

「だんだん反応は良くなっている」と参加者からの声

宣伝は1時間。終了後に参加者から感想を聞いてみると、「今日は、チラシの受けとり良かったね。だんだん反応はよくなっているね。」

「結構、若い人がチラシをとってくれた。いろいろ考えてる人が増えているのかな？」などの声が出され、みなさん、手ごたえを感じているようでした。

今後さらに運動を広げるためにどうしたら？などの意見交換をして、解散となりました。

共産党羽村市議団も、「9条を守ろう」との世論をさらに広げるため、力を尽くしていきたいと決意を新たにしました。



戦争の悲惨さについて対話に



当日配布したチラシ

「9条を守る会・西多摩」の宣伝は毎月第一日曜日午後3時から。現在は羽村駅東口で続けられています。みなさんもぜひ参加してみませんか。



2007年8月12日 No.860
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷
日本共産党羽村市議団のHP
http://www.jcpharura.org
事務所 電話 579-2132 Fax579-2106

無料法律相談のお知らせ
8月14日午後1時30分からです。予約が必要です。鈴木議員の携帯電話まで。
(080-11058-9450)

日本共産党羽村市委員会は見解を公表しました。